

共同プロジェクト研究

共同利用・共同研究拠点 —情報通信共同研究拠点—

理念と概要

通研の役割 **情報通信分野における COE**
全国共同利用型研究所

単なる設備の共同利用ではなく、**本研究所教員との共同研究を前提**とした共同利用型研究所

研究成果の公開

所外研究者との**研究内容主導型**の共同プロジェクト研究の遂行

国内外の優れた研究者の協力のもとに企画・コーディネートし、プロジェクト研究として実施

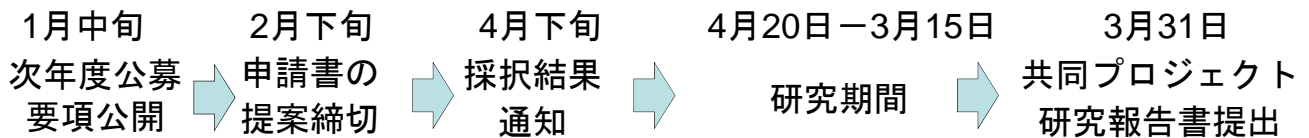
大規模な装置・施設の共同使用タイプの共同利用型研究ではない

公募と実施

《対象》

- 国・公・私立大学、国・公立研究機関及び、民間企業・団体等の教員及び研究者
- 本共同プロジェクト研究は本研究所教員との共同研究を前提としたものであるため、申請にあたっては本所に対応教員がいることが必要

《スケジュール（公募、実施は年度単位）》

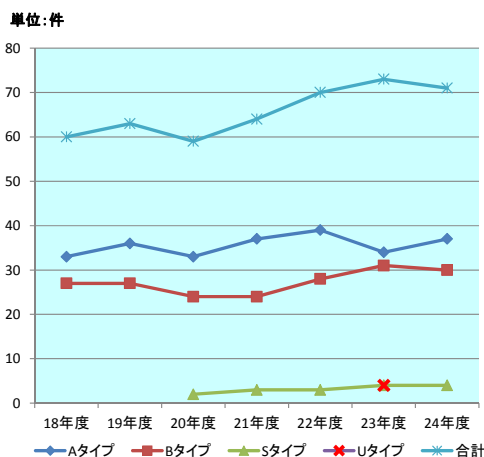


《プロジェクトタイプ》

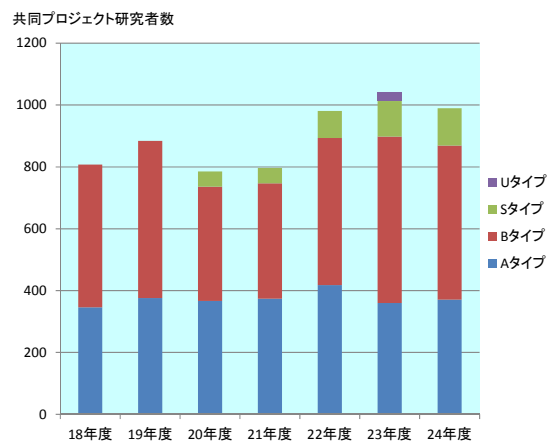
- Type A 本研究所の施設・設備などを使って行う研究
- Type B 短期開催の研究会形式の研究
- Type S 組織間連携の共同プロジェクト研究
- Type U 災害に強い情報通信環境実現を目指す研究（平成23年のみ）

1. 実施状況

○共同プロジェクト件数 70件程度



○参加研究者数 1000名程度



○予算額 約3500万円

2. 共同プロジェクト研究発表会

平成22年度より共同プロジェクト研究成果の発表の場として「共同プロジェクト研究発表会」を開催している。



平成24年度共同プロジェクト
研究発表会の様子



○ 平成25年度

日時：平成26年2月27日（木）13:00～19:30

場所：東北大学 片平さくらホール

セッション：人間性豊かなコミュニケーションを実現する革新的情報通信デバイス
ポスターセッション

人間と環境を調和させる次世代情報通信システム

特別講演（ストレージ分野を予定）

3. 共同プロジェクト研究の成果と評価

【大型プロジェクトの創出】

共同プロジェクト研究からの発展
平成22年から24年の間で**36件**を推進

- ・ 最先端研究開発支援プログラム
- ・ 先端研究拠点事業
- ・ 科学研究費補助金「学術創成」「特別推進」
- ・ JST-CREST など

【共同利用・共同研究拠点の中間評価】

(評価区分) **S評価**

拠点としての活動が活発に行われており、共同利用・共同研究を通じて特筆すべき成果や効果が見られ、関連コミュニティへの貢献が多大であると判断される。

(評価コメント) 共同利用・共同研究拠点として、情報通信に関する学理の探求と応用研究について活発な活動が行われており、**共同研究からプロジェクト研究への展開**や若手の表彰を通じた人材育成を通じて、関連研究者コミュニティの発展に貢献している点が高く評価できる。

今後、本研究所以外の研究者からの提案に基づく研究課題の実施など当該分野における開かれた拠点としての取組の充実が期待される。